

# 協同組合による地域づくりの 取り組みについて

---

1. 協同組合
2. 日本の協同組合
3. JCA
4. 地域づくりの取り組み

2019年7月8日

日本協同組合連携機構（JCA）  
協同組合連携部 前田健喜



# 協同組合

- 人々が、共通の経済的・社会的・文化的なニーズや願いをかなえるために、出資して共同で所有し、民主的に管理する事業体。利益ではなく、ニーズをかなえることを目的とする。
- 現在の形の協同組合（cooperative）という形態は、19世紀に欧州各国で誕生。
- 特徴は「人を中心に置く（people-centered）」こと。そのため協同組合は、次のような特徴を持つ。
  - ✓ 組合員が生活する・働く地域から離れない。
  - ✓ 特定のニーズから出発しつつも組合員の生活全体に事業や活動の分野が広がっていく傾向がある。
  - ✓ 組合員が生活する地域全体を考える傾向がある。
  - ✓ 後継世代にわたる持続可能性に配慮する。
- 2016年11月、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録。協同して社会課題を解決する仕組みが評価される。

# 日本の協同組合

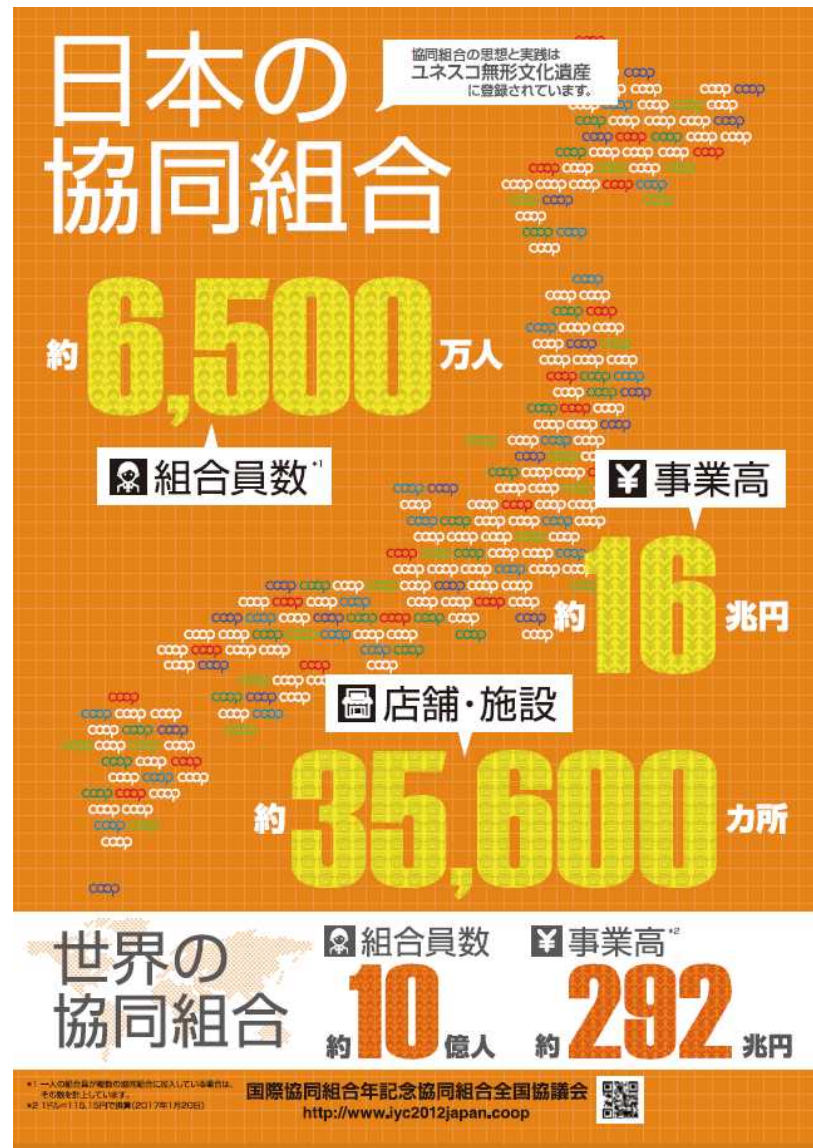
---

- 欧州で生まれた協同組合が、日本に紹介され、明治初期に生協や生糸や茶の販売組合などの協同組合が誕生。
- 1900年「産業組合法」施行。
- 戦後、分野別に各種の協同組合法施行。各種協同組合は、同一分野内での結びつきが強い形で、発展してきた。

# 日本の主な協同組合と法制度

	組合員	根拠法（制定年）	所管省庁
農業協同組合	農業者（個人/法人）	農業協同組合法（1947）	農水省
生活協同組合	消費者	消費生活協同組合法（1948）	厚労省
漁業協同組合	漁業者	水産業協同組合法（1948）	農水省
森林組合	森林所有者（個人/法人）	森林組合法（1978）	林野庁
事業協同組合	中小企業	中小企業等協同組合法（1949）	中小企業庁
信用金庫	営業区域内個人/法人	信用金庫法（1951）	金融庁
労働金庫	労働組合・生協（組織/構成員。区域内個人）	労働金庫法（1953）	厚労省/金融庁
商店街振興組合	区域内の小売/サービス業	商店街振興組合法（1962）	中小企業庁
労働者協同組合	労働者	なし(NPO、企業組合を活用)	なし

# 日本の協同組合





# 日本協同組合連携機構（JCA）

---

- 2018年4月発足。
- 目的：さまざまな分野の協同組合間の連携をすすめ、資源や知恵を持ち寄り、協同組合の可能性を広げ、持続可能な地域づくり、よりよい仕事・くらしづくりに貢献する。
- 機能：
  1. 協同組合間連携の推進
  2. 協同組合共通の政策提言・広報
  3. 協同組合全般の調査・研究・研修

# お魚殖やす植樹運動

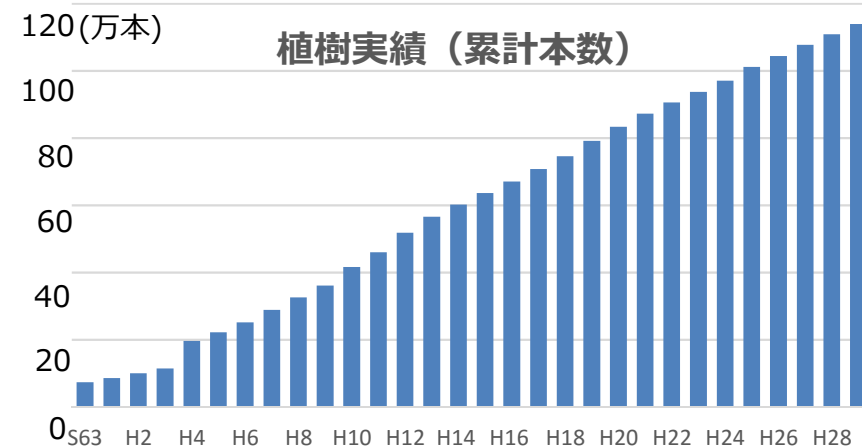
北海道漁連女性連 + 漁協 + 農協 + 森林組合 + 生協 等（北海道）

- **森-川-海** の繋がり
- **30年** 以上にわたって継続
- **人材育成** の場としても活用



## <成果>

- 累計**114万**本を植樹（2017年）
- 生協・道森連等も苗木支援の助成を開始⇒**協同の輪**が拡大

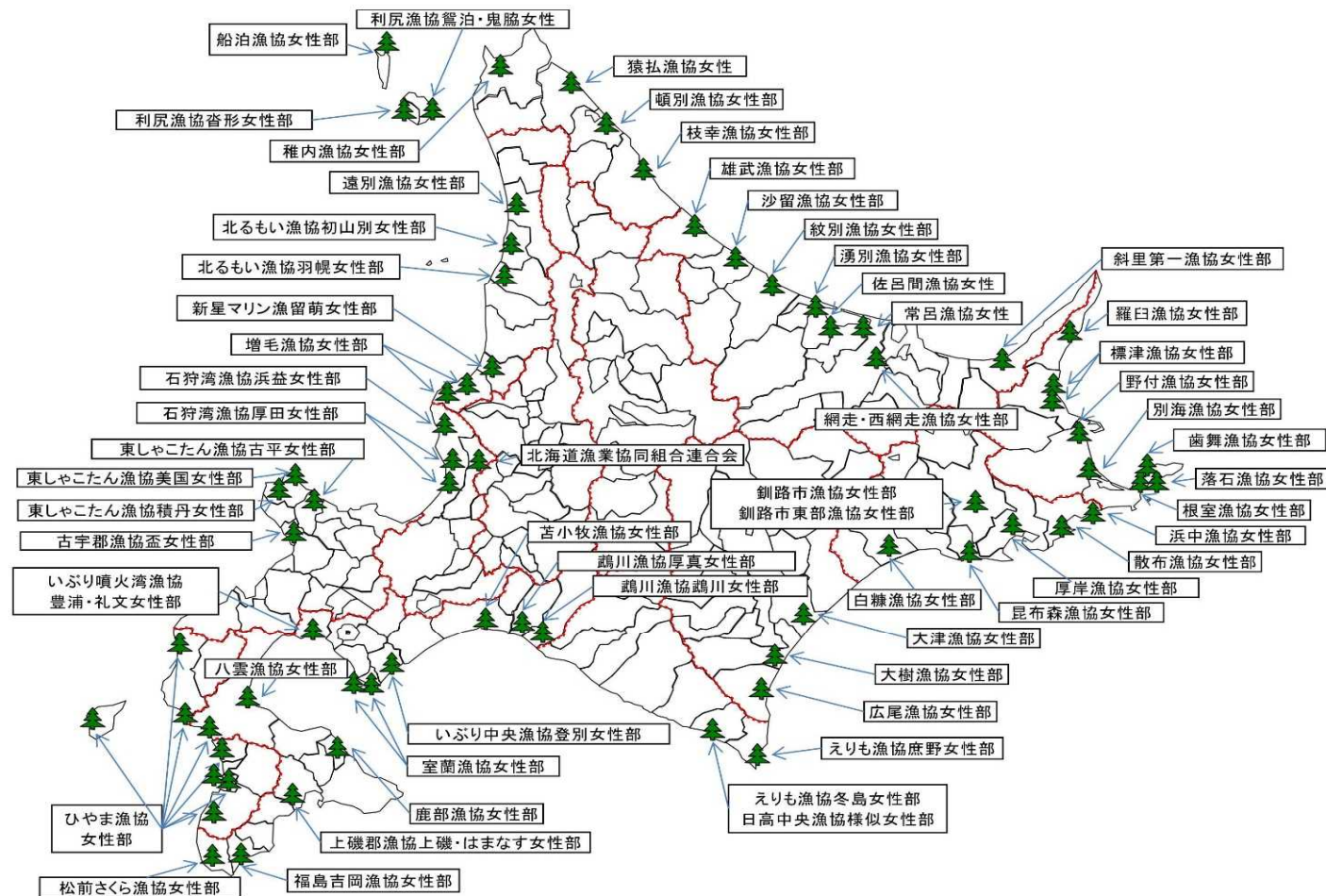


出所：北海道漁業協同組合連合会



# 平成29年度に植樹運動を行った漁協女性部

(水産林務部環境局森林活用化資料より)







# 地域農業の支援

生協 + JA + 生産者組織 + 加工メーカー（長野県）

生活クラブ  
連合会

- 1981年より長野県産のトマトジュースを取扱い
- 輸入自由化のもとでの生産農家の減少に危機感

労働集中期  
定植・収穫を支援

組合員を派遣



トマト農家

JAながの飯綱支所管内

労賃支給  
4,000円／日  
（食事つき）

※派遣にかかる旅費などは製品価格に上乗せ

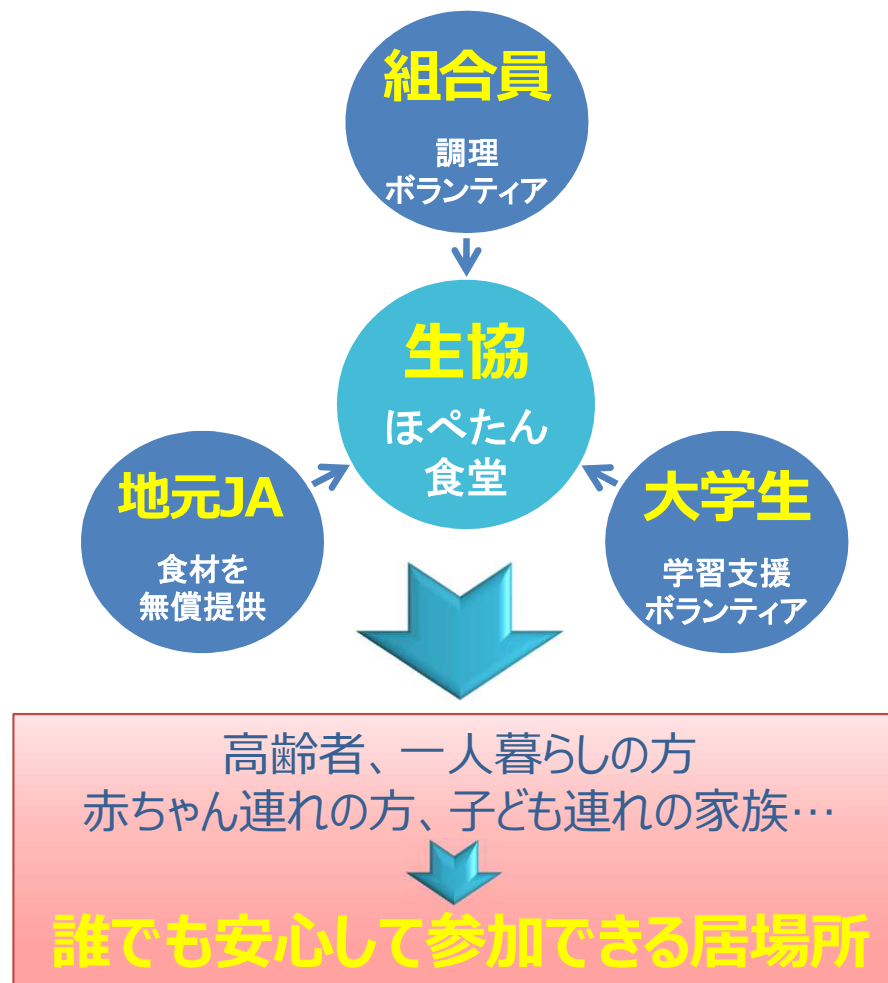
<成果>

- 延べ2,225人が参加（1995年から2016年までの22年間で）
- 生産者も有償労働を計画的に織り込んで作付け
- 新規就農も年1戸ほどあり（会社勤めの退職者、生活クラブ東京の組合員も）



# 子どもの居場所づくり

生協 + JA など（茨城県）



<成果>

一緒に調理すること、  
参加者同士の交流により…



**「地域の共食」**  
**「地域コミュニティの再生」**



# 地域の活性化の取り組み

## コープあいち、JA愛知東（愛知県）



## 2010年 コープあいち&JA愛知東の総合提携に継承

- 2012年、コープあいちが県から受託した「地域支え合いモデル事業」の枠組みで、JA・社協・社会福祉法人と住民の生活支援について協議
- 2014年、JA愛知東とコープあいちで、JAが2011年に実施した組合員アンケートに基づき、協同組合間協同での生活支援の具体化協議。
- 2015年～JAが行う健康診断をコープあいち組合員へも呼びかけ
- 2015年～健康サロン「まずは寄らまいかん」の協同開催
- 2017年～JA愛知東女性部が中心になって、閉店したAコープ°店舗跡で週1回「朝市」を開催。他に週2回、地域自治区の相談窓口も開設。

# 地域の困りごとと解決

## 生協+医療生協+ JA+社会福祉協議会（島根県）

### 有償助け合いシステム「おたがいさま」



- 2002年にスタート  
（誰でも・いつでも・どんなことでも）
- コーディネーターは、
  - 利用者の家を訪ね
  - 困りごとに共感し、よく聴いて
  - 応援者に結び付ける

### <困りごといろいろ・応援いろいろ>

家事	掃除・洗濯・買い物・食事づくり・ゴミ出し
介助	散歩、話し相手・外出や通院の付き添い
育児	子どもの遊び相手・保育園等の送り迎え
その他	草取り・電球交換・衣類のお直し・お墓の掃除

多くの困りごとの発見・・・  
多様な依頼に応える必要性・・・

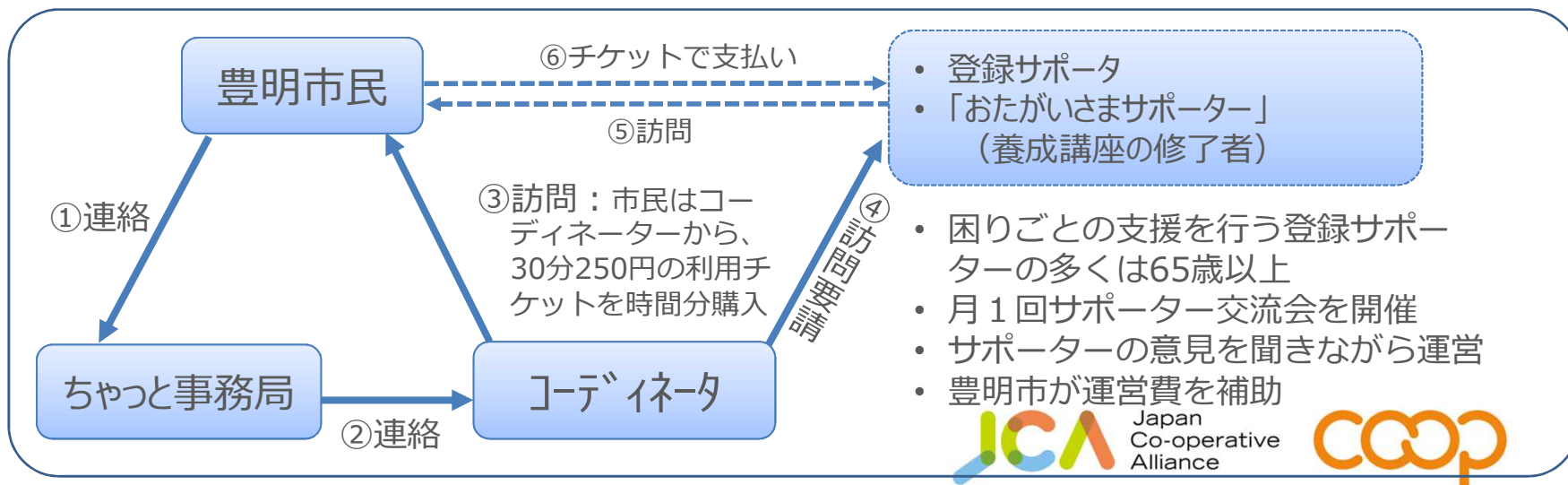
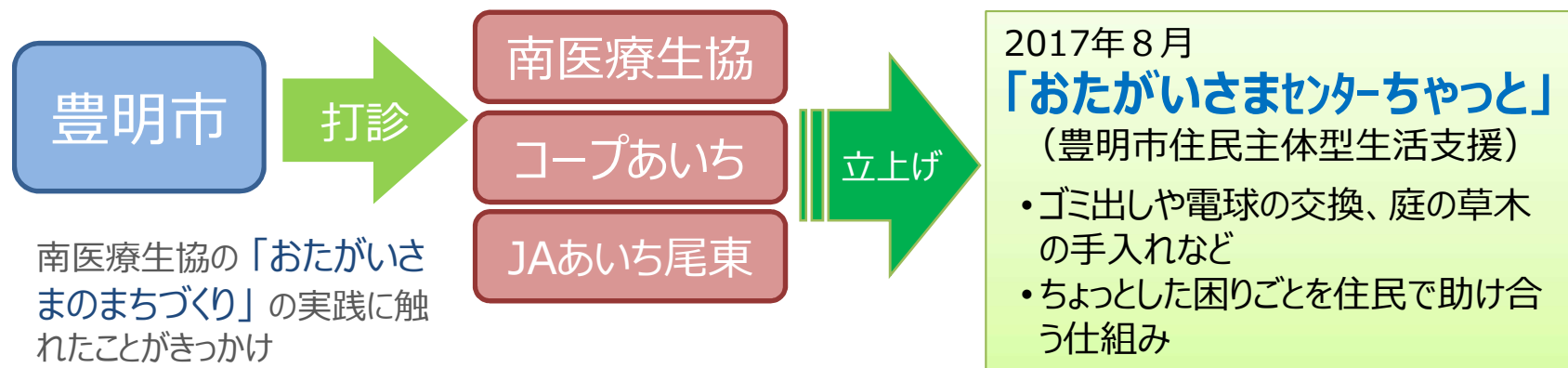
他の組織との連携に発展  
（医療生協、JA、社会福祉協議会）

2014年、「地域つながりセンター」を設立

- ① 連携・協同活動（「地域ケア連携推進フォーラム」、子ども食堂、フードバンク等）の実施
- ② 「おたがいさま」を全県に広げること

# 高齢者の困りごとと解決

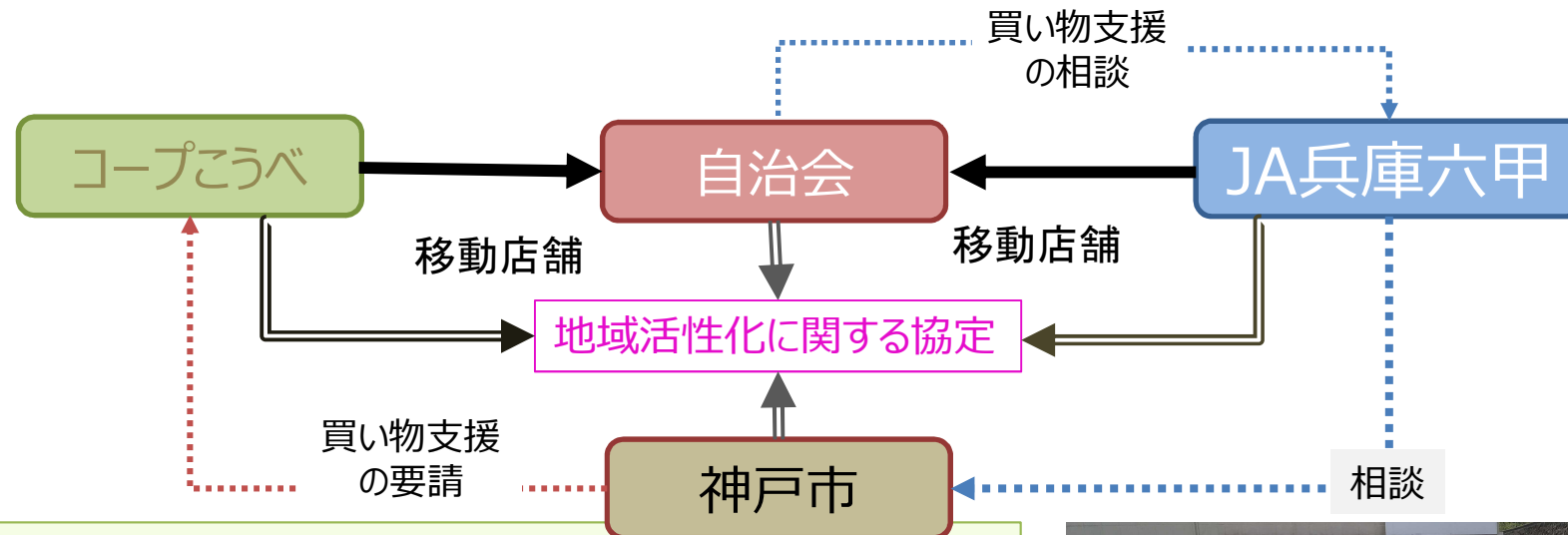
## 南医療生協、コープあいち、JAあいち尾東（愛知県）





# 買い物支援

## JA兵庫六甲+コープこうべ（兵庫県）



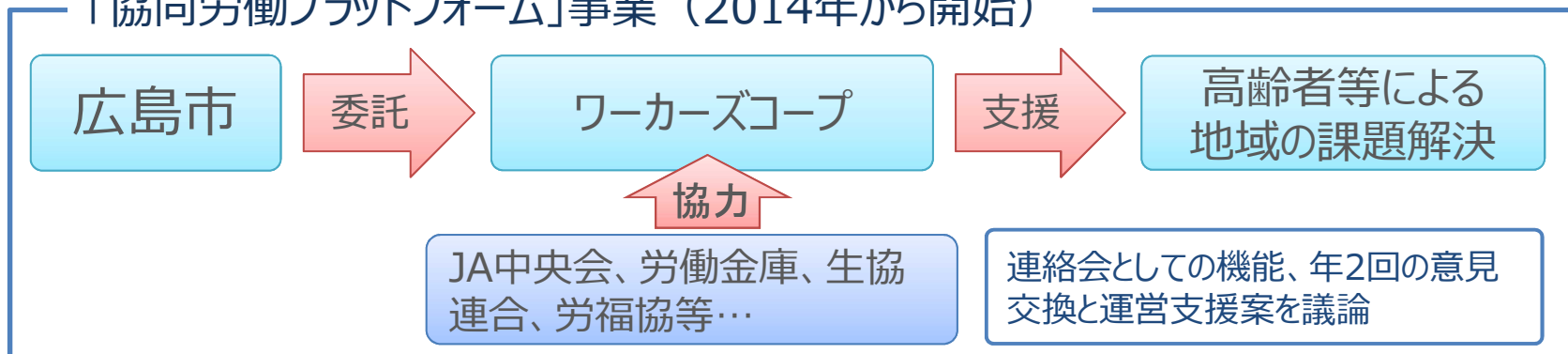
- ✓ 昭和40年代から入居が始まった団地がある、坂が多い地域。2016年12月地元スーパーが撤退。
- ✓ 住民や自治会の要請により、2017年2月からJAが、同年8月から生協が、それぞれ週1回（計週2回）、移動店舗を出す。住民も支える意識。
- ✓ 移動店舗を囲んで、地域住民が集まるようになり、安否確認の場ともなっている。



# 仕事づくり・まちづくり

ワーカーズコープ+中国労働金庫+広島県生協連+ JA広島中央会等（広島県）

## 「協同労働プラットフォーム」事業（2014年から開始）



- ✓ 地域の課題の解決を思い立った人たちが出資して、仕事をする「協同労働」の団体を支援する広島市の事業。
- ✓ ワーカーズコープ（労働者協同組合）が事業を受託。他の協同組合と協同して、地域の団体を支援。
- ✓ 困りごと支援、居場所づくり、障害者の居場所づくり、耕作放棄地の解消、などの課題に対して、同事業の支援を受け19団体が活動（2019年7月現在）



以上です。  
ありがとうございました。

---